



明学だより

第 32 号

2024年9月



暑かった夏からようやく秋に移りつつあることが虫の音からも感じる季節となりましたが、学園からは今日も子どもたちの元気な声が聞こえます。

さて、この夏に学園の職員は子どもたちの帰宅訓練時に合わせ、書類倉庫の整理をしました。

保管された書類の中には、当園が明治42年に「感化院」として創立時を伝えるものもあり、当時も様々な困難な生活を抱えて入園した子どもたちが先生と出会って精いっぱい学園で暮らしていた様子が伺われます。

その中でも、心を打たれたのは、それぞれの子どもたちに先生が寄り添って、熱い指導をしておられたことです。110年以上を経ても先生と子どもたちが同じ歩幅で歩いていく学園の姿勢は今も同じです。

こうした大切なことを次代に繋いでいくべく、私もこの学園の一員として歩んでまいりたいと思います。

今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

行事報告

6月下旬から9月までの学園行事を紹介します♪

この夏、非常に暑い日が続いておりますが、子どもたちは元気に過ごし、今日の体育祭を迎えることができました。写真も合わせてお楽しみ下さい！



AED講習会

6月10日に、明石市消防局の方に来ていただき、『AED講習会』がありました。講習会では、AEDの使い方以外にも心肺蘇生法を教えてくださいました。子どもたちも真剣に話を聞き、実践練習では「周囲の確認よし」「あなたはAEDを！あなたは119番通報をお願いします」と緊迫感のある中で取り組むことができました。

もしもの時に今日の知識があると、救われる命はあるはず。今日の講習を実りあるものにしたいです。

梅雨でジメジメしていた、6月21日。去年の9月中頃から緑色になってしまったプール。この日はみんなでプール掃除をしました！実は、緑色のプールにはたくさんのお宝が眠っているのです…。みなさん、どんなお宝だと思いますか！？……正解は、かえるの赤ちゃん、おたまじゃくしです！！と、そのおかあさんと思われる、手のひらサイズの大きなかえるのおかあさんもいたのです！！おたまじゃくしは、3匹捕まえて大切に育て、アマガエルになり、おかあさんかえるは、明石学園の大自然へと帰っていきました。この夏たくさん泳ぐために、プールの内側と外側をブラシでこすり、きれいなプールに大変身しました！これでたくさん泳げるね～♪



プール掃除

サマーキャンプ



7月17日・18日、「兵庫県立いえしま自然体験センター」へ、夏の大イベントであるサマーキャンプに行ってきました！！港から船で家島へ。約1時間で着いた家島は、大自然が溢れていました。カヤック体験や海釣り、磯遊びなどを楽しみます。お待ちかねの夕食作りは、各寮に分かれて、みんなで話し合ったメニューを作ります。カレー、鍋、おしゃべりにスペアリブ。おなかいっぱい食べたあとは、コテージに戻りトランプ大会、砂浜で海ほたるを見に出かけたり。それぞれ楽しい時間を過ごしました♪

事故、怪我なくみんなで元気に帰ってくることができました！

みんなが楽しみにしていた『オリックス野球観戦』の日。7月21日は夕食を食べた後に車で出発。「今日は夜遅くなるから、早く行動しよう～！」と声を掛け合い、ほっともっとフィールド神戸へ！大きな会場に、テンションも上がりました。今日は、オリックス・バファローズ vs 東北楽天ゴールデンイーグルスの試合でした。これはファンのこどもたちも大人も大興奮。プロの野球を見て、いろんなことを感じた瞬間がたくさんありました。プロでもミスをすれば仲間に声かけをする。どのスポーツでも必要なことを学びました♪そしてフィナーレに打ち上げ花火！思わずジャンプして喜びを表現した子どもたちでした☆

オリックス 野球観戦





盆踊り会

夏の風物詩、明石学園の名物行事と言えそう、『盆踊り会』です！
女の子たちは、それぞれが選んだ浴衣に身を包み、男の子は自前のタオルを頭に結び準備万端です♪

盆踊り会では、輪投げ・スイカ・ポテトチップス・からあげ・ラムネ・アイスが用意されており、櫓を囲んで屋台がずらりと並びます。その櫓の周りをみんなで特訓した踊りを披露します。なんととっても力強い大太鼓は、とても迫力がありました！

今年の盆踊り会はたくさんの方に参加いただき、とても思い出深い盆踊り会になりました。来園してくださった皆様、ありがとうございました☆

さて、明石学園はとってもきれいで大きなプールがあるのをご存じですか？？6月末にみんなで掃除をしたあのプールです。

8月26日。もうすぐ夏休みも終わり！「宿題は終わってるの！？」という保育先生の声よりも「泳ぐぞー！」寮長先生の声の方が大きいんじゃないの？と言わんばかりに、子どもたちは一生懸命泳ぎます。水が怖かった子、泳げなかった子。そんな子たちもこの夏、みんな泳げるようになりました。大会当日、たくさんの選手が表彰されました。是非、お子様に「水泳大会どうだったの？」と声を掛けてあげてくださいね♪



園内水泳大会



エイサー強化

女子10名は、体育祭で『創作エイサー』を披露します。
エイサーとは、本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能。女子寮の保育先生を中心に、4月からエイサー練習が始まります。

特にこの夏休みは毎日のように体育館から元気で大きな声が聞こえて来ては、私たちの背中を押してくれました。

その中で3日間、エイサー強化期間に、Eisa-Crew CROWNの代表、高橋大三さんに来ていただき、特別指導をしていただきました。女子児童の努力の結晶を是非、ご覧ください！

みなさん、きれいで正しい手の洗い方はご存じですか？

明石学園では毎年夏に、『衛生講習会』があります。

衛生講習会では、正しい手の洗い方や、食中毒の危険性などを市の保健師さんに来ていただいて、ご指導していただきます。また、キャンプに役立つ食中毒予防のお話も聞くことができ、子どもたちは興味津々です。

正しい手洗いを知った後は手洗いチェッカーでチェックします。

おっと…！？厳しいジャッジに冷や汗かきます……！！



衛生講習会

トライやるウィーク



令和6年度、11名の子どもたちがトライやるを経験させていただきました！実際に職場に入らせていただき、仕事を体験します。

「働くってこんなに大変なんだ…」「誰かのために何かをするって幸せだな」「将来、こんな仕事に就きたいな！」など色んな思いがあったでしょう。

接客業や、車の整備、福祉施設で人と関わること、飲食店で弁当を売ること。新しいことへ挑戦できた日々になったのではないのでしょうか？このトライやるで得たものを大切に、これからの学園生活も頑張りましょう♪

どこの寮でしょう??

写真集



さて、6月に発行しました明学だより第31号に、9つの寮を紹介しました。どこの寮もユニークな先生方と子どもたち。その中でいくつか、寮のとある一場面を切り抜いて、写真を集めてみました。さあ、今この第32号を手にして読んでくださっているみなさま。これらの写真がどの寮のシーンなのか…考えてみてください📷

① 龍の絵を描いている…〇〇〇寮



② グラウンドキャンプ! …〇〇〇寮



③ おいしい梅干しになあれ…〇〇〇寮



④ 輪投げも手作り! …〇〇〇〇寮



⑤ すてきな時計がある…〇〇〇寮!



みなさん、どうでしょう??

第31号の『寮の紹介』でも紹介させていただいたように、各寮のユーモア溢れる生活の一場面を切り抜いてみました。

第32号の『どこの寮でしょう?? 写真集』の答えは次回、第33号で発表したいと思います♪

お楽しみに(^o^)*



お知らせ

明石学園の基本理念・方針を兵庫県ホームページに掲載しています。また『チャボナビ』にて学園の行事や日常の様子も更新しておりますので、下記の QR コードをスマートフォンで読み取っていただきますと、アクセスが可能です。是非、ご一読賜りますと幸いです。

チャボナビからは、月に1度見学会を実施しておりますので、明石学園にご興味のある方はそちらの方からお問い合わせください。心よりお待ちしております。



〈兵庫県 HP〉



〈チャボナビ〉

編集者より

まだまだ厳しい暑さが続き、残暑をどう楽しもう? という今日この頃。第32号を発行させていただけることになり大変嬉しく思います。この夏を経験した子どもたちの成長は、とても大きな種となり、これからの学園生活だけでなく人生において花を咲かせるのだと感じております。

今後とも保護者・関係機関の皆様にご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



大特集

卓球部



6月29日に神戸市立王子スポーツセンターにて行われた『第67回兵庫県児童福祉施設卓球大会』に A チームと B チームに分かれ、6名の選手が出場しました。

A チーム:優勝 B チーム:3位 という結果でした☆

卓球部監督・A チーム主将・B チーム主将にインタビューをしました♪是非ご一読ください！



『悔しさをバネに』

6月29日、2回目の出場となる児童養護施設卓球大会がありました。昨年、僕の尊敬する1年上の主将が、「優勝します！」と大きな声で言い、僕たちも頑張ろうと意気込みました。とても上手な主将たち A チームが負けるはずがないと思っていました。しかし、結果は準優勝でした。一生懸命に戦う先輩たちの背中がとてもしっかりとよかったです。そのときの僕は、B チームで出場し3位でした。歯がゆい思いを噛みしめながら1年間練習をしてきました。そして今年がやってきました。昨年の結果もあり、とても緊張していましたが、プレイして行くにつれてだんだんと気分も上がり、普段よりも集中してできました。予選も通過し、1セットも落とすことなく決勝へと進みました。頭が冴えわたり、球も思ったところに全て打つことができました。結果は優勝でした。昨年の無念を晴らすことができ、仲間の協力もあって、とても晴れやかな気分です。学園へと優勝トロフィーを持って帰ることができて、とても嬉しかったです。

明石学園 卓球部 A チーム主将

『このチームで良かった』

僕たち B チームは、リーグ戦では1位リーグに勝ち上がられました。望んだトーナメント戦では小さなミスがあり、それが積み重なって惜しくも3位という結果でした。自分が勝っていればチームは決勝に進めました。

その自分のミスをすごく後悔しています。ですが仲間の支えがあったからこそチームが1つとなって戦えたのだと思います。ぼくらは B チームで戦えて良かったと思っています。支え合うことが大事だと僕は思いました。

B チーム主将

『大きなお土産』

昨年度兵庫県児童福祉施設卓球大会にむけた壮行会を開いてもらい、その時主将が皆に向けて言った言葉「優勝旗を持って帰ってきます！」今でもはっきりと覚えています。しかし結果は準優勝。それでも学園の先生からは良く頑張ったと温かい言葉をかけてくれました。本当にあと少し、もう一歩、もう一球が届かず悔しい思いをした大会でした。来年こそは必ず優勝旗を学園に持って帰ってくると、私以上に部員が強く心に誓った大会になりました。

年度が変わり新しい部員が増え、迎えた兵庫県児童福祉施設卓球大会。昨年度から引き続き卓球部に在籍している部員にとっては、忘れられない大会。今年のスローガンは「優勝旗を学園に！」。その思いを胸に、団体 2 チームで挑んだ大会でした。2 チームとも予選は順調に勝ち進み、いよいよ 1 位トーナメント戦が始まりました。このままいけば明石学園 2 チームで優勝を争うことになるかと思いましたが、そううまくはいかず、1 チームは負けてしまい、3 位という結果になりました。負けたことを責めることはなく、勝った部員は負けた部員の思いを引き継ぎ、決勝に挑む姿は逞しく見えました。そして始まった決勝戦。普段通りすれば勝てると声をかけ、部員は緊張やプレッシャーに負けず普段以上のプレーをしてくれました。その結果、見事優勝！表彰式で優勝旗を受け取る部員の誇らしい笑顔がとても印象的でした。「今年は学園に優勝旗を持って帰ることが出来る」と嬉しそうに話す部員の姿を見ると、とても嬉しくなりました。目標を持って活動を続けることで、成果は必ず付いてくると実感できる良い経験になったと思います。今後は近畿児童自立支援施設卓球大会に向けて練習に取り組んでいきます。応援ありがとうございました。

明石学園 卓球部監督 今津 康介

野球部



明石学園野球部は、17名の選手と監督、コーチ、マネージャー。そして応援団と共に『明石市夏季少年野球大会』に挑みました。7月に行われた近畿児童自立支援施設野球大会では、3位という結果。その悔しさをバネにし、1ヶ月後に行われたこの大会で『準優勝』という成績を残しました。6月の梅雨の時期も、夏の暑い日も関係なく、一生懸命に練習に取り組みました。明石学園野球部監督と、主将にインタビューをしましたので、是非ご一読ください！

『野球とチームワーク』

僕は、キャプテンという立場でやらせてもらっていろいろなことを学びました。1番必要だと思ったのが、『チームワークの大切さ』です。たくさん先生に教えてもらいながらやってきました。みんな、どんな練習でも最後まで諦めずにやってくれて今までにない一番いいチームが作れたと思います。近畿大会では優勝を目指していましたが、惜しくも届かず、3位で終わってしまいました。とっても悔しくて明石大会で良い結果を出せるように練習を頑張ってきました。この大会では、準優勝になれて自信ができました。応援ありがとうございました。

明石学園 野球部主将

『明石学園 野球部サポーターの皆さまへ』

近畿児童自立支援施設野球大会では準決勝で無念の敗北、子どもたちは悔し涙を流しましたが、その後もモチベーションを落とすことなく練習に励み、この度の明石市夏季少年野球大会で準優勝することができました。暑い中、連日球場まで足を運んで応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。スタンドを見たときのたくさんの明石学園サポーターと心あたたまる声援に胸が熱くなりました。子どもたちもさぞ心強かったことと思います。野球部の活動においては「自分との闘い」という言葉を何度も伝えました。技術の習得も、試合で力を発揮することも、たくさんの苦勞がありました。私自身もそうでしたが、頑張っているのに上達しない、結果が出ない、そんな時にどうしても人と比べることで安心感を得たい自分に出会います。練習試合では敗戦の方が多かった今年のチームです。大会で勝つために足りないことは何なのか？相手あつての戦いであることはもちろんですが、まず闘うべきは自分自身だということでこの言葉を投げかけました。敗戦続きの中、自分たちを見失いそうな致命的な一敗があったときには SST を開いてもらいチームワークとは何かを全員で考えました。日々自分に向き合うことで、日ごろ遠い存在に感じる一般の中学校の野球部とも互角に試合をすることができ、子どもたちはすごく自信になったことと思います。「野球を通じてひとまわり大きな人間になろう」日々子どもたちと確認していることの一つですが、文字通り全員が立派な成長を遂げることが出来ました。応援してくださったすべての方に感謝申し上げます。

明石学園 野球部監督 山本 義敬